

令和 8 年 2 月 18 日

函 館 開 発 建 設 部

函館漁港周辺の街歩きワークショップの実施（最終）

～函館漁港を核とした函館西部地区活性化策の検討～

函館漁港を核とした函館西部地区の活性化を目指し、北海道教育大学・函館開発建設部などの産学官が連携して、若者主体のまちづくりを進める取り組みを具体化します。

これまで、地域の魅力や課題の把握、地域資源を活かした活性化アイデアの検討・整理などを行い、実証実験の方向性を固めてきました。

今年度最終回となる今回は、これまでに固めてきた内容を改めて振り返り、成果をまとめ、来年度実施予定の実証実験で想定される課題を整理します。学生の視点を踏まえながら、実現可能性をより高めるための議論を行います。

記

日 時	令和 8 年 2 月 21 日（土） 14 時 00 分～16 時 00 分（予定）
場 所	北海道教育大学函館校 第 6 講義室（函館市八幡町 1-2）
実施団体	北海道教育大学奥平ゼミ、函館開発建設部函館港湾事務所 ほか
実施内容	①これまでの内容の振り返り・まとめ ②来年度の実証実験に向けた課題整理

本取組は、来年度も北海道教育大学奥平ゼミ、北海道開発局・地元建設業者等の若手技術者を中心に定期的に集まり、民間企業の協力も得ながら「海業※の振興」を中心に地域活性化のための課題解決に取り組んでいます。

※海業：海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの。水産庁が進める取組（[海業の推進：水産庁](#)）

■取材を希望される報道機関の方は、2 月 19 日（木）までに以下の問合せ先までお知らせください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

函館港湾事務所 所長 三岡 照之 (0138) 41-4156

第 2 工務課 宮井・工藤 (0138) 41-6567

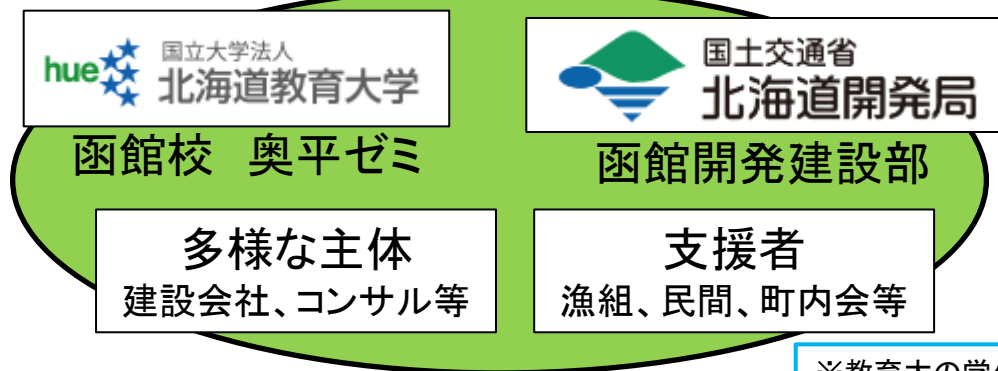
函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

函館開発建設部公式 X（旧 Twitter）https://x.com/mlit_hkd_hk



「函館漁港を核とした函館西部地区の活性化方策」を産学官連携し、
若者※が月1回集まって街歩きをしながら検討、課題解決を目指す

チーム



北海道教育大学・北海道開発局が事務局を務めながら多様な主体が連携し、検討の輪を広げていく

※教育大の学生
+ 社会人1～5年目



令和8年度

(アイデアのプロジェクト化)

- プロジェクト化に向け組織体制の構築
- 補助事業等の獲得
- 実証実験
- より具体策の検討

第1回 (10/26) (函館漁港・漁港事業を知る)

- 目的の確認
- 現在の漁港事業の各種制度を知る
- 函館漁港を知る

第2回 (11/16) (プロジェクトの種、課題を探る)

- 函館漁港背後地域を知る

第3回 (12/14) , 4回 (1/12) , 5回 (2/1) (課題の解決策検討)

- 課題解決のためのアイデア出し
- アイデア実現のための戦略検討

第6回 (まとめ・来年度に向け)

- 次年度活動に向けプロジェクト化するアイデアをまとめる

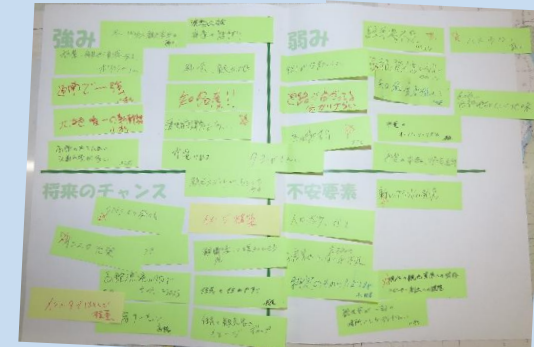
これまでの経緯と今後の予定

第1回(10月26日)・第2回(11月16日)
函館漁港+周辺地域の現状・課題を把握



(左)市内の漁業者や関連産業従事者に地域の現状をヒアリング (右)函館どつく前～山背泊集落を街歩き

第3回(12月14日)
SWOT分析を使ったアイデア出し



SWOT分析(右)を用いて函館漁港周辺地域の強み・弱みなどを整理した後、それらを生かせるプロジェクト案を検討

第4回(1月12日)・第5回(2月1日)
アイデアの具体化



(左)実際の漁港地図を使い空間配置をシミュレーション (右) 企画の訴求力や漁業者への恩恵を確保する方策を検討

今回の予定

第6回(2月21日)

- ①これまでの内容の振り返り・まとめ
- ②来年度の実証実験に向けた課題整理



令和8年度

実証実験開始+プロジェクト化検討